
Re:phantom

松影ひよこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Re：phantom

【Nコード】

N5041R

【作者名】

松影ひよこ

【あらすじ】

「音楽」とは不思議なものだ。

聴かせるだけで人の人生を変えるのだから。

The Beginning is the End is the Beginning

7月30日。深夜。

それはきつと貴方達にとってはただの日常に過ぎないだろう。

しかし、私にとってはそうではない。

あの日の事は今でも明確に覚えてる。

忘れない。いや、死ぬまで忘れることなどできないだろう。

「それ」はとても退廃的だった。心に闇を抱えているかと疑う寂しげなピアノ。

ギタリストの涙ぐむ音すら聞こえてきそうな悲しいギター。

重々しくて、どす黒くて、この世の絶望を抱えている病んでいるベース。

押さえ気味だけれども、とても綺麗で常に正確なリズムを刻んでいる律儀なドラム。

インスト曲だった。

ことの始まりはこうだ。

仕事が終わりに家に帰宅した私はお風呂に浸かり、体を充分休ませたあと髪をとかし冷凍庫のアイスクリームを食す。これがたまたまなく美味しい。頑張った自分へのご褒美とはこのことを言うのだろうか。

ここまではいつもと同じだった。

主人の言う事を聞かないパソコンも腹が立つな。
カーソルは右往左往していた。主人が少々お怒り気味なのを知って
か知らないのか。

どちらにしろ振り回されのは嫌いだ。

カーソルの動きがピタリと止まった。数秒後すぐに動きだした。向
かった先は。

メールボックス。

自分勝手なカーソルはそこをクリックした。

私にはおよそ友達と呼べる人間が少ない。登録しているサイトから
もメールがこない。メール通知をオフにしているからだ。

だからなのか。メールは極端に少なかった。

（最後のメールは……今年の4月か）

その時のことをぼんやりと思いだしていたら…

未開封のメール（1）

（新しいメールがきたか）

私はおそろおそろ、マウスを手にとりクリックしてみる。

この瞬間に気付いたが、いつのまにかカーソルを自分で動かせるよ
うになっていた。

メールの内容。

mp3ファイルが添付されていた。

本文は無し。メールアドレスにいたっては、ただ適当に数字と英字
を並べているようにしか見えなかった。

ただ、一つだけ印象的なものがあった。
件名。

R
e
:
p
h
a
n
t
o
m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5041r/>

Re:phantom

2011年10月8日18時15分発行